

製品名: RBQ-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16970**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	RBBP5
別名	RBBP5; RBQ3; Retinoblastoma-binding protein 5; RBBP-5; Retinoblastoma-binding protein RBQ-3
遺伝子 ID	5929.0
SwissProt ID	Q15291
免疫原	RBQ-3 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 190-270

背景

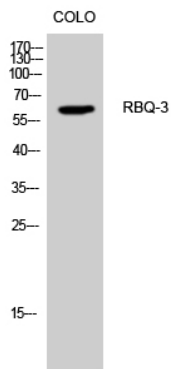
この遺伝子は、WD リピートタンパク質の高度に保存されたサブファミリーに属する、普遍的に発現する核タンパク質をコードして

います。コードされているタンパク質は、細胞増殖を制御する網膜芽細胞腫タンパク質に直接結合します。また、E1A 結合ポケット B を介して、低リン酸化網膜芽細胞腫タンパク質と優先的に相互作用します。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする3つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。 [RefSeq 提供、2010年7月]、機能:リン酸化が不十分な網膜芽細胞腫タンパク質に優先的に結合します。、PTM:DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性:6つの WD リピートを含みます。、サブユニット:SET1 複合体の構成要素で、少なくとも触媒サブユニット (SETD1A または SETD1B)、WDR5、WDR82、RBBP5、ASH2/ASH2L、および CXXC1/CFP1 で構成されています。 MLL 含有複合体 (MLL、ASCOM、MLL2/MLL3、または MLL3/MLL4 複合体と呼ばれる) の構成要素: 少なくとも ASH2L、RBBP5、DPY30、WDR5、1つまたは複数のヒストンメチルトランスフェラーゼ (MLL、MLL2、MLL3、および/または MLL4)、および条件的構成要素 MEN1、HCFC1、HCFC2、NCOA6、KDM6A、PAXIP1/PTIP、および C16orf53/PA1 で構成される。組織特異性: 普遍的に発現する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



RBQ-3 ポリクローナル抗体を使用した CoLo 細胞のウェスタン ブロット分析。